

## 教員養成に関する情報公開項目【教育職員免許法施行規則 第22の6】

### ＜人間科学部としての教員養成に対する理念＞

人間科学部では、教員養成の理念を具現化するため、子どもの教育及び発達支援に関する学問領域と人間の心理・文化に関する学問領域における専門的教育・研究を基礎として、乳幼児期、児童期、および青年期の各時期に対応した発達支援と文化伝達に関わる領域の教職課程を置く。

### ＜児童・幼児教育学科としての教員養成に対する理念及び免許設置の趣旨＞

児童・幼児教育学科においては、子どもの教育及び発達支援に関する専門性と広い視野を有し、社会に貢献できる、豊かな人間性と高い倫理性を備えた人材を育成することを教育目標としている。さらに、児童・幼児教育学科では、学科における教育目標のもと、乳幼児から学童期の人々、および、障害者が豊かに共生しうる地域社会を創造・実現していく人材、すなわち、多様な人間の発達および対人援助に係る専門的知識と技能を身に付け、発達諸問題に対応できる柔軟で創造的な人材の育成を目指している。

児童・幼児教育学科においては、この教育目標並びに本学における教員養成の理念に基づいて、適正な職業観を身につけ、日本語能力や情報処理能力等の基礎的学士力を獲得し、特別支援教育に関する素養を兼ね備えた総合的・実践的力量を有する小学校教諭、幼稚園教諭および特別支援学校教諭を養成する。

### ＜心理・文化学科としての教員養成に対する理念及び免許設置の趣旨＞

心理・文化学科においては、人間の心理と文化に関する専門性と広い視野を有し、社会に貢献できる、豊かな人間性と高い倫理性を備えた人材を育成することを教育目標としている。さらに、心理・文化学科では、専門的知見の教授を通じて、現代社会を生き抜くために必要な教養と現代社会の課題に対応する多様な専門領域の知識と能力を養い、ヒューマンケア、教育、文化の新たな共創と発信を通じて、社会に貢献できる幅広い職業人材の育成を目指している。

心理・文化学科においては、この教育目標並びに本学における教員養成の理念に基づいて、適正な職業観を身に付け、日本語能力や心理カウンセリングマインドなどの教師力を獲得し、人間理解および文学と文化文芸に関する知識・技能を兼ね備えた総合的・実践的力量を有する中学校教諭（国語）および高等学校教諭（国語・書道）を養成する。